## (学行政管理学会の活動と今後

## 関東地区研究会での活動 ッショインやSNSをより活用した取組みに

する場であり、全国の大理論的かつ実践的に研究 業務の 域・経験年数および担当 学職員と交流し研鑽し合 政・管理の多様な領域を  $\subset$ 会、13のテーマ別研究グ を迎えた今日、会員総数 立された。それから24年 管理職員の育成・確立を つ実践的に研究すること る多様な領域を理論的か 8つの地域別研究 大学規模・年齢・地 ルとしての大学行政 フでの活動を通し 枠を超え、大学行 1997年に設 プロフェッシ へに 及 | 訪問や、英国・香港・ベースれ、韓国・台湾の大学| い領域で活動している。「国際化」であるが、特 「国際化」であるが、特 況を知る」シリー ている。 同研究会を中心に活動し 教育と大学を知る」 属する会員で構成され 会」は首都圏の大学に所 加したご縁で、その後も ・女性職員の育成」や。研究会の主軸は「若 「関東地区研究

9年4月 小 会等のタイトルを紹介す 2年間に開催された研究 年間に亘る研究会を契機長・常任理事)による1 尽力があり、人と人との習院大学学長室部長)の 会の特徴と言える。背景ったテーマ設定が同研究 多岐にわたり、 開催する各会のテーマは る。筆者が入会後、ここ には、宮澤文玄代表(学 ている。 的に展開させ現在に至っ 産であることを実感す つながりは何よりもの資 会長(元早稲田大学副総 その活動の幅を多角 AMの村上義紀元副 年4~5回程度 時流にあ

会 ・2019年7月「韓 9年8月「海

・2020年1 と大学を知る」 て見る韓国高等教育・ (韓国編) ~韓国の教育 を通-海 報 「韓国大学スタディツア」は、2019年8月実施

の参加も多かった。コロ研究会の代表者や世話人

ープで

いまでこそオンライ 実務で力を発揮でき

当たり前となったが、以ルタイム配信での授業は

部署がある、伝統的なテ と、どの大学でも専門の は学事、人事、財務な

前より研究会の様子をラ

を始め、

現旧の役員、各

JUAM会長・副会長ら

ナ禍の中、

一地区の研究

(3)

年6月に入会し、

同 年 8

状と課題」 ソライン授業における現

大きい。研究会では「日等学校副校長)の尽力が

|は、「登壇者よりた||る。事後アンケー

革

日指している。約55人|・発展に貢献すること|

に関東地区研究会主催

関東地区研究会につい

告会

からのつながりが深

2020年6月「コ

表

黒澤眞爾関東国際高 講師2人 (宮澤代

た研究会だったとい 全体の活動に影響を与 会に留まらないJUAM

ことにより大学業界の改

研究では、この補助を活

きなかった構成員に対し

告やそれに対する議論

別研究会の広報の仕事

地区別・テ

いては、

① 会 員

中堅職員勉強会」を立ち

一った。この勉強会が始ま一人)で内容等の検討を行

勉強会は

ジェクトメン

てきた。他方で、近年一、各大学の発展に寄与

こでの研究発表、事例報

ーマの研究会があり、

ても視聴できるようにす

日本の全ての

第2851号 年で15年目となるが、井職した。大学職員歴は今 目を迎えたところであ充実5か年計画」の3年 原理事長から紹介を受け 議員秘書を2年経験し、 業後は一般企業に就職し 人事や営業を6年、 筆者自身は、大学卒 年に本学園に転 国会

事長に就任し、新たな中 学園前理事長が本学園理 計画「白梅学園の 令の和充

(昭和30年3月28日第三種郵便物認可) 市にあり、 創立80周年を迎える。 である。201 する保育者養成の伝統校 子ども学の分野を強みと 大学・短期大学は保育・ 有する総合学園であり、 幼稚園から大学院までを 規模ながら小学校を除く にJUAM第3代会長で あった井原徹実践女子

外大学スタディツア

究会等から、

~」である。

える場である。 筆者の所属する学校法 白梅学園について

部機関との協働も行い、際教育交流協議会)等外 開した。JAFSA(国沢を知る」シリーズを展 「海外の教育・大学の状トナムの識者を招聘し 情や第一 振り返ってみると、 った。幾つかの研究会で きすることばかりで、自々の講演は、初めて見聞 てもらい、深く感謝して は活動の中心に携わる機 することもしばしばであ 身の視野の狭さに愕然と いる。 に何らかの形で携わらせ 会に恵まれた。宮澤代表 韓国の高等教育事 線で活躍する方 間の活動を 全

場面から研究会の実施に 雑談的に企画が生まれる の人脈や人望、 いわゆる

至るまで、一連のプロセ は得難いことを数多く学 んだ。本稿では先述の研 3つを紹介 講師より、現職における談であった。鼎談では各 事、福留園子高知工科大学理事·東京家政学院理 学総務部長)を招いた鼎 授、円谷恵国際基督教大

での韓国大学のオンライ 「コロナ禍 概要、経験談、職業観、 学職員としてのキャリア 今後の課題と展望につい て発表いただいた。そこ

営への応用を目指して関令日本の大学教育・運 今でこそオンライン研 から、 させる議論に展開し、 グ 共通項を見出し、

オンライン研究会となっ 究会は日常的に行われて 当時はJUAM初の公式 いるが、2020年6月 学職員・関係者が集い、全国から116人もの大 越えた結びつきにより、 設けた。講師陣の地域を - プ別意見交換の場も

た。 を集めた。経緯として 申込が半数を占め、日本 全国及び韓国から参加者 関東地区以外からの

17年に設立、来年3月で 市にあり、戦時下の昭和 人白梅学園は東京都小平

佐々木理葉 学職員として参考になっ 世界的動向と日本の大学修歴証明書デジタル化の の課題」 員として大学経営に携わ校法人常務理事対談:職 会 向かう大学を考える~」ロナ禍を越えて、未来へ た図書等を通じた読書 年3月「学  $\exists$ な状況にあるのか」につ な状況にあるのか」につ を目様の社会問題を包 授業の終了時期と重な Ŋ の声に基づき考察を深め例紹介・韓国の方々の生 な立場の方々から話を伺 生・教育関係機関の様々 ら いて、現況解説・事前ア 実施直後の期末試験 同時通訳を入れなが 大学教員・職員・学 当日は韓国の前期 トの結果報告・実

大学行政管理学会の

アー(韓国編)~韓国のの「海外大学スタディツ

白梅学園大学

らこの日に至るまでの状 両国の参加者は、3月か イムの情報を共有した。 国や自大学の課題につい 況を改めて振り返り、 の様子や最終的な評価方 まさにリアルタ

て考えを深める機会を得 大学改革研究会から考えるJU

かう大学を考える~次世 ナ禍を越えて、未来へ向 委員会と共催した「コロ 地区研究会及び研究研修 2つ目は、中国・四国

で全国にまたがって

支い

北海道から九州ま

事者にも、

関西支部、東海

関東支部の3つの支

歳代の若手・中堅職員で

の構成員は、主に20、

30

学や履修証明プログラ

ある。

今でこそ大学院進

もその準備をすることに

め

最初は意思疎通や仕

上がっており、

本地区で

とが初めてであったたプロジェクトを進めるこ

しれない

対象とする勉強会が立ち 区でも若手・中堅職員を れていた。この頃は他地

他大学の方とこのような

いなかったら、

手法などが未熟な場合に アイデアであっても研究 れるため、たとえ斬新な などに厳格な審査が行

UAMの関わり いて述べたいと思う。

は審査に通らないことも

る。補助を出すというこ は増えていない状況であ

話人を拝命している。本

となれる学会であっ

た

容を検討

実施すると

検討をしている際に議論

の迷走や行き詰まりが発

いう能動的な立場となっ

は管理監督者のみが会員

ここでは主催者として内 立場で参加していたが、 るまで、筆者は受動的な

スタッフで実施内容等の った。そのため、勉強会

事、九州・沖縄地区の世管理学会(JUAM)理

筆者は現在、大学行政

催され、そこに参加す

る

齊藤琢磨

よう要請を受けた。

前

とで研究目的や研究手法

Mとの関わりやそこで得稿ではこれまでのJUA

た条件はなくなり、むしが、その頃にはそういっ

た。

また、

初めて他大学

生した場合は、

たもの、

そしてこれから

員への参加が呼びかけら

なった。若手ということ

の方と仕事をすることに

もあり、6人ほぼ全員が

ろ積極的に若手・中堅職

獨協大学

高等教育研究院特任教 境」をテーマとし、その 成・国際化といった「越 て~」である。若手育 代を担う大学職員に向け (塩川雅美大阪市立大学
アーマに沿った講師3人 マ別研究会が中心となっ る。これら地区別・テ れている研究会が13あが8、テーマ別に形成さ UAM)には、地区ごと大学行政管理学会(J に形成されている研究会

部を拠点にしているが、

地方の開拓が今

他のテ

ら2年間は副代表、20会し、2017年10月か 研究会に2016年に入会」がある。筆者は、本 職員が中心となって活動別研究会に、若手・中堅 からJUAMの現状と課稿では、本研究会の活動 代表を拝命している。 て研究会の企画・運営を 9年10月から現在まで をから、日常で困っている とから、日常で困っている ること、課題としているいこ ことに特徴がある。 1 の例として、2018年 からテーマを決めていく マ別研究会とは異なり、 後の課題である。 関東圏と関西圏に集中 本研究会は、

題を考察したい 次世代の大学運営―」 活動テーマとしており、 ―支え合いから生まれる「大学職員間の相互支援 大学改革研究会につい 大学改革研究会は、 を る。 もう1つは、 JUA 男性の育児休業も切実ななかで、女性のみならず とライフイベントを経る 成員の多くが結婚、出産児休業を取り上げた。構 ワークショップでは、育度定期総会・研究集会の

コロナ禍でも定例会や勉ていた。この経験から、

強会は休むことなく続け

いる。また、若手・中堅 ークショップや勉強会を テーマを取り上げて、ワ 若手・中堅職員が時事の テーマを取り 提供し、自己研鑽を促す の参画のきっかけの場を 職員に対してJUAM 企画・運営することで、 大学職員同士の繋がり と個人またはグル であり、審査を通過する研究活動を奨励するもの 個人またはグループでのとは、39歳以下の会員が ある。若手研究奨励制度 リティに関する研究」で利用しての「性的マイノ Mの若手研究奨励制度を

ルを活用できる者とし 学でも、オンラインツー

点挙げる。

で J U A M

点目は、研究会のテ

の現状と課題について3

構成員たちは所属する大 ることができた。また、

組を踏まえて、

大学改革研究会での取 JUAMの現状と課題

ントとなった」といった「経験に基づく話はとて「経験に基づく話はとて リア形成や人材育成分野 声が多数寄せられ、 をもらった」 キャ ろで交流し合う場となっる、自ずと互いの距離感 ンに富んだ。発表から日マ・映画とバリエーショが、内容は書籍・ドラ て 頃の考えや人柄が垣間見 「大学職員として参考に

最後は、学事研究会及

ブリオバトルオンライ等についての読書会~ビとして参考になった図書 世話人中心の少人数開 会と共催した「大学職員 び教育マネジメント研究

拡がりや可能性を感じた。な大学職員像」を共有す 輝いた。興味のある方は智子著)』がその栄誉に 物は図書室まで(青山美 を選定し、小説『お探し 最後には「チャンプ本」 ぜひご覧いただきたい。 た。また、意図せず JUAMの課題は、会 参加者間で「理想的 学では成し得ないスケ 性を活かすとともに、 えることもある。 ルメリットを活用し、 員・非会員を問わず一

への関心度の高さが窺え

だと思う。金田淳一会長解決につなげて行くべき 者が集い、 とって魅力あるプログラ 様な観点から大学職員に 北海道から九州まで参加 (法政大学) • 髙橋章建 今後も、関東地区の特 多 ってT

以前と比べ参加者は大幅区研究会では、コロナ禍 ーションが日常化し、全りオンラインコミュニケ に増加し、毎回のように 国にネットワークを有す 研究会活動の停滞であ っている。実際、関東地 ションが日常化し、 コロナ禍によ 請もあり、 育と研究を推進するこ 翼を担えたらと思う。 会の活動を通じてその一 務という手段を用いて教 「大学職員の使命は『事 井原理事長の著書に -ドに、関東地区研究 他研究会の活性化に つながる」をキ してほしいとの要 . う 一 節があ

を目指した。

テーマ

発表する緩やかな交流会 人5分位でお薦め本等を 催・参加型の会とし、

を

とから、

所」である。今後も新たてチャレンジできる場 するためには、月並みでて、悩める学生達を支援 な経験や出会いを積み重 大切と考える。筆者にと び・成長し続けることが はあるが、自分自身が学 が多様化する現代にお ね、大学職員としての役 る。変化が激しく選択肢 大切に心に留めて UAMは「安心 戸を開いているが、応募職員に対して研究への門

励制度の活性化である。

一副会長(成蹊大学) AMの課題 堀佑 割を果たしていきたい た企画・運営がまだ不十 るが、支部の垣根を超え 分なため、今後は支部を た実践を行っていた。 とのようにオンライン ルを十分活用してい

Twitterを通じてア マを取り扱うことに強み 研究会では扱わないテ 定)を参照)。特定のテ 会・研究集会の場で発 た。この結果を定期総 の認識や当事者が大学に を除く)と大学職員、 第24号、第25号(掲載予 会誌に投稿した(詳細は 求めることなどを考察し して性的マイノ マがない代わりに他の また大学行政管理学 ト調査し、 当事者団体や 大学職員 ているが、 NSでの案内を見て参加 オンライン開催でも、Sているが、対面開催でも 月に懇親会企画を開催し を募集している。 毎年4 と3点を利用して参加者 Sアカウントでの発信、 配信、研究会独自のSN 用メーリングリストでの とともに、過去の参加者 リストで案内を配信する る仕組みづくりが必要で あると感じている。 超えて積極的に参画でき 企画の広報について 会員専用メーリング

は及ばない部分もある。 つの事項を追究する点で があるが、反面として1 のなかには新入職員の姿 もある。このように、 を申し込む者もいて、そ

る。そしてそのメンニ

行うにつれ、

お互いの考

的に集まり、話し合いを

数か月に1度、定期

素晴らしさを体感した。

参加

 $\Rightarrow$ 

いということもあ

がまたメンター

を

果を挙げられるよう

さらなるSNSの活用 も考えられる。<br />
考え、新規開拓すること 用して定期的にトー 広い層に届くように発信 には、SNSアプリを利している。 構成員のなか ムを開設しているが、 ップとして、すでに個 若手研究奨励の前のステ るのではないだろうか 究の輪が広がり活性化 支援し繋がっていくよう にする。そうすれば、 に実施しているケース 次なるメンティー

どの企画・運営では、5

会や研究会内の勉強会な

ていることもあり、定例支部が各地区に分かれ

年以上前からオンライン

ルを積極的に活用

配信サイトのYoutube ある。 JUAMは、 効だと考えられる。 や勉強会の開催なども 見られるが、研究活動を するに当たっての相談 3点目は、オンライ ルやSNSの利用で 動画 有会 なった。 度

その後、

表を行り

集会にも参加し、 年に1度開催される研究

研究会において「若手・ への関わり 若手・中堅職員勉強会

用する観点から、この用を負す いうアカウントを持っ いるが、更新頻度は て と 年に入会した。その後はと誘いを受け、2012 地区研究会のみならず、 になってみてはどうか」 な方から「そろそろ会員 るのみであったが、様々 際に応援も兼ねて参加す 本学で開催される011年までは年に

用を検討していく必

あると思われる。

本地区 見識を から若手・中堅職員勉強 に なかったと思う。 に入っていなければこの にもよるだろうが はなくなった。所属大学 会を開始することを目標 ような経験をする機会は 4年度はプ

学会  $\Box$ 思う。 きた。 いる。 ては必要最低限の関わり 場を離れ、 職員勉強会を運営する立 い。今は私も若手・中堅だいて感謝の言葉もな 見を尊重するようにして とし、運営メンバ の世話人の立場でいる場を離れ、本地区研究会 の方々には相当心配をお 内容ややり方に関し したのではないかと 今を思えば世話人 自由にさせていた

(認証評価)、IR、ILで出てくる大学評価 ある。 学会では、 集まって議論ができる場 を2~3年で完結し報告 は、見当たらない。他のを継続的に扱う研究会 は、見当たらない。 を提供することも重要で する取組がなされてい CTやDXなどのテ 伝統を重んじ 時限的に会員が う る M の ホ ストでの配信、

2点目は、若手研究奨 として重要なミッション 早く掴むこともJU も大学業界の変革のフ ドが年々増しているこ トレンドを ョ A ン M いち P によっては時にマイナス る。SNSは利用の仕方 UAMの活動を幅広く発 | いだろうか。また大学改の、上手く利用すればJ | 極的な登用が必要ではな に働くことはあるもの 供があまりなされていな い。そこで、SNSの活 九州・沖縄地区のこれから 熊本学園大学

信の2点であるが、

|ため、非会員への青粄早

യ (Rich Site Su 会員限定であり、②はR 非会員への情報提 本 本 合 に で の 発 し の の 発 ① は 手•

も、例えば若手枠の理事 この乖離を埋めるために じているように思える。 ン職員であり、乖離が生定権は役職のあるベテラ NSの利用は、概して若 の獲得にも活用できる。 ている部分であるが、決 信できるため、 オンラインツ 中堅職員が得意とし 新規会員 ルやS ラインツ

てオンラインツールの普 いない。今回の定期総の普及があまりなされて ty 5.0に関する研究会 皮切りに、 会・研究集会の分科会を を何度か開催している クショップやSocie ルの魅力を積極的に伝 まだ J U A M 全体 へ オンラインツ

革研究会としては、 ールに関するワ オン 仲間であり、研究や事例 考えて 員であるが、 大学そのものではない。 会員の約9割が大学職 いる。

●宿 泊 ●レストラン

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT 名古屋力ーテンパレス 日本私立学校振興・共済事業団

. 052(957)1022

〒460-0003 名古屋市中区錦3-11-13

泊

一活性化に寄与できればと一れていくと考えられる。 けて活動目的、テーマ、勉強会開始前に1年間か る。年齢、役職、学会内 するまで打ち合わせを行 今後もJUAMに求めら 議論できる場の提供が、 での役割にとらわれずに 見を得られることこそJ 検討を行った。特に活動 報告を通じて情報交換す 開催スケジュ ってみよう」ではなく、 UAMの存在意義があ ることによって新たな知 メン 一が納得 ルなどの また、 『都心の中のやすらぎ空間』 ●婚 ●宴 礼会

及をすることで、学会の

も深刻に受け止め、 解決 問題は、本地区研究会で ているが、思うように後営メンバーが入れ替わっ フに無理がかかっているず、現在の3人のスタッ ある筆者の力不足ゆえと 題は、ひとえに世話人で 任を補充することができ に向けて検討を進めてい 認識している。これらの 状況である。これらの問 6年が経過し、運 ーが入れ替わっ 層 の場合、 のコミュニケーションが 理由から対面とオンラ とは言うものの、 ン併用は避けられない 地理的·時間的

るところである。 コロナ禍における学会 異なり、様々な大学、 手・中堅職員勉強会の内 対する多様な研修が増加 会を開催することがより 対面で参加していただけ 事例や知見を得ることが る。そのため、 代の方が参加されて、 なっているように思う。 容が類似することが多く 内容と地区研究会や るだけの中身のある研究 ベストだと思っている。 JUAMには学内研修と しており、それらの研究 また、最近では職員に 求められている。 先駆的: 修

催した。おかげさまで引 1回を5月に福岡市で開 から勉強会を開始し、第 いよいよ2015年度 ほっとしたことを覚えて 会は迷走をしていたかも ができるというのもJU 他大学の方と一緒に仕事 目的をしっかりと定めて 皆で確認していた。活動 ち返り、必ず活動目的を -となり、多様な意見を つのものを作り上げる 今頃勉強 原点に立 た場が少ない地方の大学 同時に会員間のネットワ 研究会を実施しているた 用されている。 ワーク構築の場として活 少ない知識吸収とネット っしゃる。特にこういっ加している方も多数いら Ŋ ず、事例発表、専門家の 活動と今後について コロナ禍において、ここ 換・収集も目的として参 る会員が多数であるが、 講演などが行われてお 会員の研究発表のみなら にとって地区研究会は数 ク構築による情報交 JUAMの研究会では それを目的に参加す 一方で、 の田修ではなく、継続的 者相互の議論とネットワ きる。 でき、 後、この強みを活かし、 座学のみではなく、 UAMの強みである。 トに議論できることはJ のヒントを得ることがで い年代の参加者がフラッ また、その場限り 気付きや業務改善

る。最近ではオンライン での研究会が可能となっ 行っている。また、対面 築ができるように工夫を の場を設けるなどして、 しでもネットワーク構 少人数での情報交換 情報交換などがやり に慣れてきたた 状況が続いてい たたか 係者にも大変協力をいた ているのは諸先輩方の 活動に際しては、本学関 だと思っている。 にJUAMで活動ができ ないかと思う。 が求められているのでは 筆者がいま、このよう いご指導のおか また、

施されると予測できるた た後も地区研究会は対面 め、それらに対応できる とオンラインの併用で実 いくことが必要であると よう今から準備を進めて 思っていただけるよう、 ただけるように、 を持ち、会員となって 学会に入ってよかったと を申し上げるとともに、 だいている。 人でも多くの方に興味 皆様に感謝 より

や若手・中堅職員勉強会

ク構築が行える研究会

現在に至るまで18回、勉明を10名の後、年3~4回、

新勉

少

後について

若 手

中堅職員勉強会

 $\otimes$ 

堅職員勉強会の現状、

今中

づらい

AMの醍醐味である。

地区研究会と若手・

ンターとなって研究につまに若手研究奨励で補助 ある。このハードル の、本格的に研究活動 の受講によって学んで を潰さないためにも、 って新しいアイデアの芽 る大学職員はいるも いて相談を受け、 している者はまだ少数で 研究 成 過 を 学で九州・沖縄地区研究

 $\overline{\uparrow}$ 

話やメー

ルのルールなど

人に参加していただき、

職場環境が違うため、電いかないこともあった。

催した。

事のやり方などで上手く

から勉強会を開始し、

た。しかし、メンバーがの基本的なところからす

いる。勉強会運営メンバ

福岡と熊本で行き来がし

寄せ合い、議論を行

る。 ただき、 ったため、 ため声がかかったと記憶て行う行事に慣れていた 等)を本学会員から依頼 々な方から声をかけて、 張したことを覚えて、 の大半は管理監督者であ キャンパスなど人を集め は入試課に配属されてお 会が開催されることにな している。当時の参加者 その雰囲気に相当緊 その応援(事前準備 入試実施やオープン しかし、懇親会で様 、よくしていただから声をかけてい 20代の筆者 たいことを述べたが、内といことを述べたが、内のや今後、勉強会で行い 容や発表のやり方、 なった。 表であり大変緊張した。 それが学会で初めての発 学の若手職員が発表し りたいこと」と題し3大 私たちができること、や 員勉強会のキックオフィ 会において若手・中堅職 ベントが行われ、 同年12月の本地区研究 筆者も発表したが、

経験が今も大変活きてお練習を行った。この時の容の修正を行い、発表の 恐怖が随分なくなった。 先輩方にアドバイスをい とにより今では発表に際 ただき、何度も何度も内 し極端に緊張をすること 発表に対する緊張や 、研究集会等でも発し後、地区研究会をは 場数を踏むと 立ち 私たちのやり方に任せて わかってくるようになえ方や仕事のやり方等が 果、とても良い議論がでびと意見交換が出来た結 況等について<br />
随時報告を きるようになっていった。 いただき、 世話人の方々には進捗状 入れていたが、基本的に 当時の本地区研究会の スムーズに運営がで 自由にのびの

> 型コロナウイルス感染症 強会を開催している。

の影響により、20

ŧ

よう」と思うきっかけと

印象を大変良いものと いたことは学会に対する

「今後も関わり続け

一の意 況ではある。しかし、若催でも参加者が集まる状いるため、オンライン開 らず、 ある程度固定の参加者がした。本地区研究会では 前後に参加をいただいて 参加者が思うように集ま 年10月の開催が最後とな り、勉強会の運営メンバ 合は参加者が流動的であ手・中堅職員勉強会の場 っている。対面では20人 いたが、オンラインだと やむを得ず中止と

思っている。

特に本地区

層励みたいと思う。

**勉強会は「とりあえずや|** また、若手・中堅職員| ない状態となっていた。の影響により上手くでき らの声掛けも、 らの声掛けも、コロナ禍ーや地区研究会世話人か

> ゆったりホテル 新大阪で降りたら 大阪カーテンパレス 礼 婚 宿 泊 会 大阪カーテンパレス 日本私立学校振興・共済事業団

☎06(6396)6211代

新大阪駅から無料シャトルバスで3分